

神楽名

# はらい がわ 祓川神楽

伝承地

祓川地区  
高原町大字蒲牟田

指定等

国指定重要無形民俗文化財

伝承団体

祓川神楽保存会  
代表 西川 嘉宏



十二人劔(中入り)

## ◆ 神楽の概要・由来・その他

祓川神楽は、高千穂峰の中腹標高500メートルの高台に鎮座する霧島東神社の社家の年中行事の一つとして、地元祓川の集落で奉納される。霧島東神社は霧島山を信仰の対象とする社として、第十代崇神天皇の御代に創建されたという。霧島六社権現のうちの一社として修験者の修行の拠点となった。南東に、霧島連山最大の火口湖である御池が一望出来る。祓川神楽は真剣での舞が多く、錫杖などの採り物をはじめ随所に霧島修験の影響が見られ、近隣の狭野神楽と共に旧薩摩藩神舞の特色を色濃く残す。鹿児島県では神舞が衰退する現在、貴重な伝承であるといえる。特徴的な規模の大きな御講屋には、四方に鳥居が立つ。法珠門は神棚中央に天照皇大神宮を祀り、万物が生まれる春を表す。福德門は生命力あふれる夏、延命門は実りの秋、成就門は万物が成就する冬、という四季の構成とされる。御講屋の中心上空には、八咫之鏡を付けた竹製の籠「八咫之盤」が吊される。演目「諸神勧請」の神歌の中で御講屋の由来が説かれる。

## ◆ 芸能の機会・場所

- 祓川夜神楽... 12月第2土・日曜日 祓川神楽殿にて
- 霧島東神社の彼岸祭... 3月、9月 霧島東神社拝殿にて
- 霧島東神社の歳旦祭... 元日 霧島東神社拝殿にて

## ◆ 演目一覧

はまくだ 浜下り	宮入の事	かどざかい 門境	おはらいのりと 御祓祝詞	壺番舞	かんすい 神隨
式参番	大光神	じわり 地割(上)	とびいで 飛出	たかひ 高幣	地割(中)
かなやま 金山	地割(下)	うじ 宇治	ひもら 幣貰いの事	しよじんかんじよ 諸神観請	つるぎ 劔
田の神	じゆうににんつるぎ 十二人劔(中入)	きねまい 杵舞	ほこまい 鉾舞	なぎなた 長刀	おさめ 納
みかさ 三笠	住吉	りゆうぞう 龍蔵	たちから 太力	将軍	花舞
かまつり 竈祭					

※平成28年12月に奉納された演目に基づく

## ◆ 演目の特徴

宿借りの演目である「門境」では神歌での問答を繰り返す。この、<sup>ち</sup>躰が山の神に一夜の宿を乞う形態には唯一神道による神楽改革の跡が見られ（他地域では来訪神である山の神が宿を乞う形態）、旧薩摩藩領の宿借りを伝える現行唯一の貴重な演目といえる。五穀豊穡の祈りを込めた「田の神」は、食生活にまつわる採り物の由来を薩摩弁で説き面白おかしく舞われる。最後に次は十二人<sup>じゅうににんつるぎ</sup>劔がある事を告げて去る。その「十二人劔」はその名の通り十二柱の諸神（天神七代地神五代）を表す勇壮闊達な刀舞で、他に類を見ない貴重な番付である。核となる番付には「舞揚」<sup>まいあげ</sup>を伴う。霧島信仰を反映する演目が多く、神面舞、問答神楽もあるが、岩戸神話と結びついた演目は少ない。

## ◆ その他の特徴

- 面... 田の神、飛出、高幣、金山、宇治、住吉、龍蔵 等
- 楽... 締太鼓、横笛、手拍子（すり<sup>がね</sup>鉦）
- 装束... 白衣、素襖、狩衣、白袴、青袴、大口袴、裁着袴、女性用着物、御笠、毛笠、烏帽子 等
- 採り物... 鈴（<sup>しやくじょう</sup>錫杖型）、扇、刀、御幣、<sup>と</sup>藤の<sup>ぶち</sup>鞭、<sup>たてぎね</sup>櫓、弓矢、<sup>たてぎね</sup>竝杵、榊枝、箕、三叉鉾、飯がい、杓文字（貝製）等
- 文書... 「神哥本」嘉永六年、「御神舞歌」年不詳、「舞数記」安永二年 等

## ◆ 伝承の現状・課題

保存会会員は29戸。舞い手は子供も入れると30名を超える。祓川地区の戸数は2018年現在53戸（うち社家は17、8戸）。昔は社家の長男のみが伝承し演目も世襲制であったが、舞い手の減少によりそのしきたりはなくなり、現在は本人の希望と経験で番付の割付が決められる。神楽青年部が発足され、継承の気運が高まっている。



門境



幣貰いの事



田の神